平成２１年度地方の元気再生事業

大山パークウェイを座標軸にした
地域の魅力アッププロジェクト報告書

平成２２年３月

特定非営利活動法人　大山中海観光推進機構

国土交通省中国整備局

【 目 次 】

[本編]

第1章　はじめに～事業の背景と目的 ……2

1）　事業の背景と目的……2

2）　参加団体と対象エリア……2

第2章　事業実施/結果概要……3

第1節　大山パークウェイの浸透を図るための取り組み……3

1）　エリアガイド「大山パークウェイ滞在計画」の制作……3

2）　夏と秋にチラシなどで情報発信/キャンペーン実施……5

3）　全体フォーラムの開催……11

4）　その他、報道機関で独自にPR ……12

第2節　旅行商品の造成と受け入れ体制の整備……13

1）　滞在型・体験型の新旅行商品の開発とプロモーション……13

2）　モデルツアーの実証実験（モニター調査の実施）……22

3）　受け入れ案内体制の仕組み作り……25

第3節　案内標識等の整備……27

1）　観光スポットにQRコードの案内シールなどの設置……27

2）　コースの主要ポイントに野立て案内看板の設置……28

3）　案内（まいまい）ステッカーの大量掲出。（道路の標識支柱に）……29

4）　県・市町村への標識整備の働きかけ……29

第3章　事業評価/課題……31

第1節　事業の評価……31

第2節　事業の課題……34

[資料編]

1）　大山パークウェイ協議会規約／協議会会員……39

2）　※別添で　・ガイド冊子「大山パークウェイ滞在計画」

１－１　はじめに～背景と目的～ ――――――――――――――――――――――――――――――

昨年度から始まった大山パークウェイの取り組みは、地域の報道機関でも繰り返し取り上げていただき、その名前を多くの市民、観光客に知っていただくことができました。
また、観光の現場においても、大山パークウェイをドライブする人が増えたといった声に加え、ドライブコースの案内がスムースにできるようになり観光客に喜んでいただいたとか、圏域（蒜山～奥大山～大山～米子～境港～美保関）のつながり感を持つことができるようになり、広域観光への意識転換ができてきた等、大きな評価を頂くことができました。
さらに、コースの１０市町村（鳥取、岡山、島根）さらに鳥取県西部総合事務所、日野総合事務所の行政機関や観光協会に大山パークウェイ協議会に参加いただき、協働で事業を進めることができ、広域観光活性化に向けてエリア全体で共通の認識が持てるようになりました。１年目の取り組みとしては、想定以上の成果を得ることができたものと考えます。

２年目の取り組みは１年目の成果を更に発展させ、浮かび上がった課題を解決していくことにより、より「元気」な地域づくり進めていくべく、事業を企画し、実施しました。その概要は次の通りです。
◎浸透を図るための継続した取り組み
大山パークウェイの取り組みを認知いただけるよう、引き続き多様なメディアの活用による各種広報活動をおこなう。特に将来にわたって持続可能な取り組みであることを念頭に、大山パークウェイ協議会を主体とした、フォーラムの開催、エリアガイド冊子の作成、パークウェイを知っていただき楽しんでいただくため夏と秋に集中的に浸透キャンペーンを実施する。
◎滞在客をターゲットにした新旅行商品の造成と受け入れ体制の整備
大山中海隠岐エコツーリズム協議会、圏域観光協会、旅行会社などと協働して、滞在型、体験型の旅行商品を開発し、販売につなげる仕組み作りを行う。
◎案内標識等の整備
道路標識の支柱に案内シールを設置し、ドライブ客への誘導を図る。また、案内看板やQRコード（ケータイ利用）案内シールの設置、ケータイ案内ではマップコードなどユビキタスの展開も行い、よりスムースで親切な案内体制を整備する。

あらためて、この大山パークウェイの狙いを確認してみます。
『国立公園大山を縦断する道（旧蒜山大山スカイライン、旧大山環状道路、旧大山観光道路、さらには美保湾岸を通るR４３１：通称産業道路～美保関）を一本の道として、わかり易くて一瞬でイメージができるタイトル（全体で“大山パークウェイ”部分で“大山蒜山パークウェイ”“美保湾パークウェイ”）をつけ、点である観光スポットを繋ぎ、線にし、そしてバイウェイと繋いでいくことで面的な広がりにまでしていき、圏域の魅力を再構築していくことを狙います。
また、観光振興という視点だけでなく、沿線の街づくりをすすめるコミュニティーと協働で、地域が元気になるような“パークシティ”を目指し、地域の元気再生に繋げていきます。』

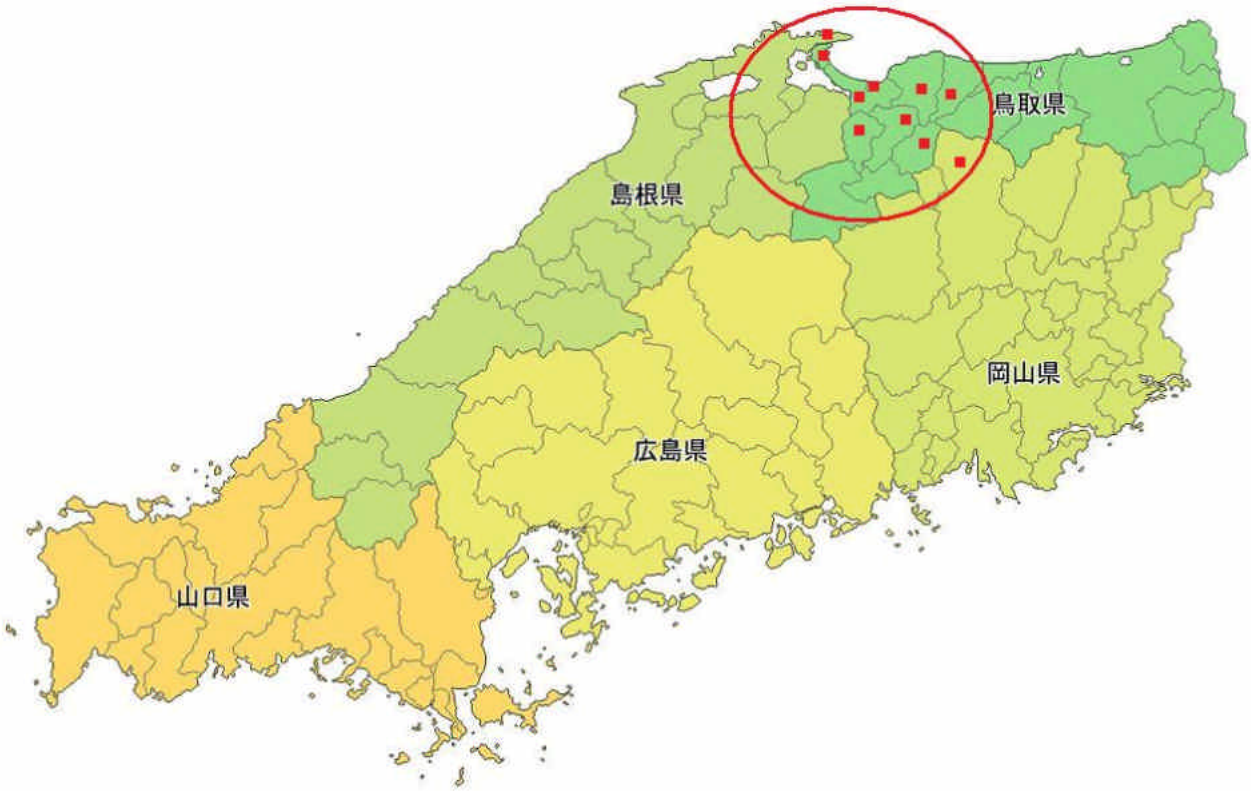
内閣府の地方の元気再生事業「大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト」は大山パークウェイ協議会をはじめ、関係各位の多大なご協力のもとに実施できたこと、厚く御礼申し上げます。

平成２２年３月　　特定非営利活動法人大山中海観光推進機構

１－２　大山パークウェイ協議会　参加団体　対象エリア----------

参加団体は鳥取県西部総合事務所、鳥取県日野総合事務所、米子市、境港市、琴浦町、 南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、松江市美保関支所、米子市観光協会、境港市観光協会、大山町観光協会、蒜山観光協会、松江観光協会美保関支部、美保関地区活性化協議会、大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会、NPO法人大山中海観光推進機構の20団体。さらにオブザーバーで真庭市が参加。

協議会会長は昨年に引き続き鳥取県西部総合事務所長に担当いただき、鳥取県としてこの事業を全面的に支援、協力して実施していくこととしました。また副会長には米子市長、大山町長にも継続して担当いただき、鳥取県はもとより協議会に参加の圏域の市町村、観光協会などもエリア全体の活性化の軸にすることで協力して取組むことができました。



＜エリア＞

■大山隠岐国立公園を中心に、鳥取県、島根県、岡山県の3県にまたがる広域連携。

＜事業のポイン＞

■大山パークウェイを中心軸において、エリアの魅力を再構築、紹介する取り組み。

２　事業実施/結果概要　――――――――――――――――――――――――――――――――

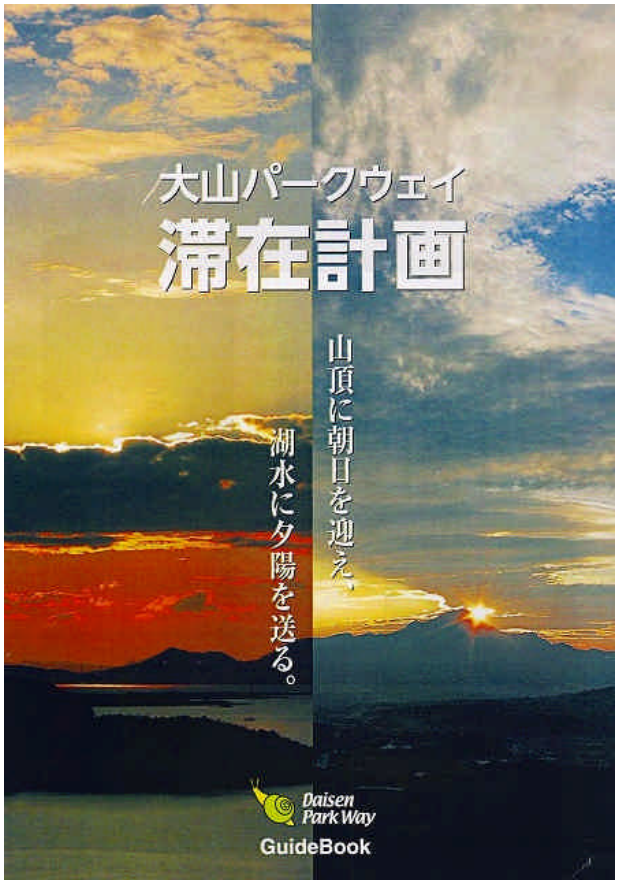
２－１大山パークウェイの浸透を図るための取り組み

１－１）　エリアガイド「大山パークウェイ滞在計画」の制作

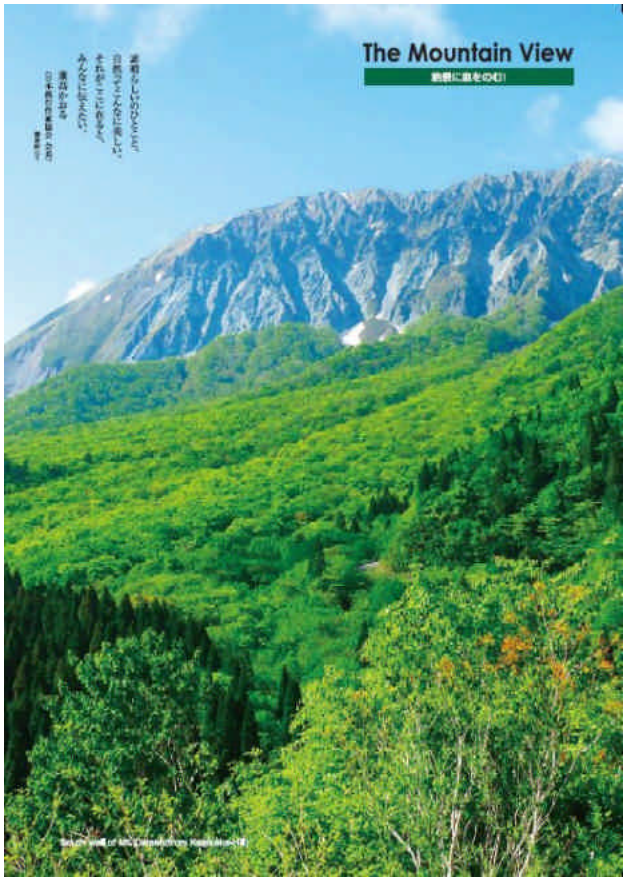
大山パークウェイの存在を大きくアピールするツールとして、ガイド冊子「大山パークウェイ滞在計画」の制作を行いました。これまで使用されていない新鮮で美しい写真を多用し、大山パークウェイ沿線の景観、アクティビティーの魅力などを伝える内容で、A4サイズ２４ページ、１ 万部印刷しました。今後の大山パークウェイプロモーションのメインツール（県外へはもちろん、県内へのインナープロモーション用も過ね）として、主に鳥取県はもとより各市町村、各観光協会、主要観光施設に配布しました。

ガイドブックのタイトルは、「大山パークウェイ　滞在計画」ということで、“滞在”をしていただくことを意識したものとしました。表紙には、宿泊しないと遭うことのできない“山頂に朝日を迎え、湖水に夕陽を送る。”というメッセージも添えました。

また、最初のページ・新緑の鍵掛峠の写真に、兼高かおるさんのコメントも入れさせていただきました。『素晴らしいのひとこと。 自然ってこんなに美しい。 それがここに在ると、みんなに伝えたい」と表現されています。 このコメントは、昨年夏に大山パークウェイを視察いただいた際に、NHKテレビニュースのインタビューにお答えになった内容です。世界中を知り尽くした方のコメントは、まさに値千金となりました。

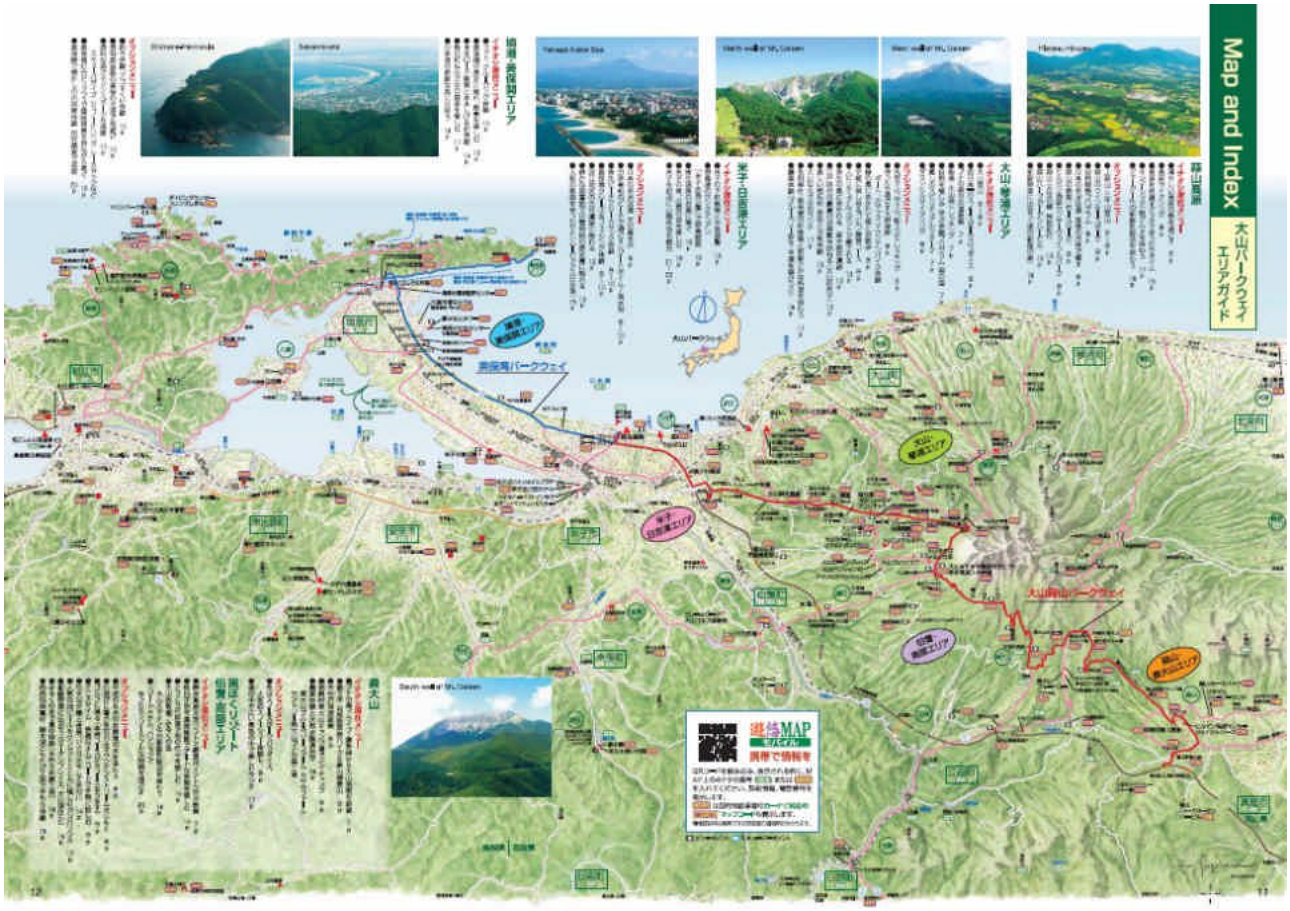


ガイド冊子表紙



ガイド冊子一頁（兼高かおるさんコメント掲載）

ガイド冊子　中綴じマップ



各頁とも写真をふんだんに使用。大山パークウェイのイメージプロモーションを想定し編集。

1－2）　大山パークウェイ周知キャンペーン企画･実施

･大山パークウェイサマーキャンペーン/オータムキャンペーン

大山パークウェイの浸透を図るために継続したPR(キャンペーン)を夏と秋に実施しました。

＜サマーキャンペーン＞　大山王国情報誌「SEE」によるPR（大山王国独自で）

＜オータムキャンペーン＞

●ケータイスタンプラリーの運用について

大山パークウェイの周知を図るため、ケータイスタンプラリーを、夏と秋の 2 回にわけて実施しました。
運用内容は下記の通り。
※このシステムについては、昨年開発したものを修正し、継続利用で実施しました。

■実施内容の概要

大山パークウェイのコース中に設置してある QR コード付のラリープレートに、
携帯電話でアクセスしてポイントをゲットしよう。
ラリープレート設置 7 施設の中から"3 ヵ所"のスタンプを集めて応募すると、
抽選で"50 名様"に"豪華ご当地グルメ賞品"が当たります！
さらに 7 施設すべてを回ると当選確率 2 倍のダブルチャンス‼
自然の大パノラマ、大山パークウェイをドライブして、ご当地グルメをいただいちゃおう♪

【応募方法】
・下記の中から 3 ヵ所以上を巡った人の中から抽選で 100 名様（夏 50 名様・秋 50 名様）へ
　ご当地グルメプレゼント（※プレゼント内容は選ぶことは出来ません）
・ご応募の際には簡単なアンケートにお答えいただきます。
・全箇所を巡った人は当選確率が 2 倍になります。
・夏の期間が終わった時点でスタンプをリセットして、秋は最初からとなります。
　夏・秋 2 回に参加していただいても結構です。
・当選者発表はホームページ及び発送をもって代えさせていただきます。
（※各当選者へは直接メールで連絡いたします。）

【お楽しみ方】
1、「ケータイスタンプはこちら！」よりQRコードからメールアドレスを読み込み空メールを送ります!
2、届いたエントリーメール中のアドレスにアクセス！
3、エントリー画面より簡単なアンケートに答えるとスタンプラリーがスタート！
4、各施設のQRコードを読み込み、空メールを送りポイントをゲット！

※鏡ヶ成ではauとソフトバンクが圏外になる場合があります。
鏡ヶ成でQRコードを読み込んだ方は、電波の入るところに移動してから送信していただくようお願いいたします。

7ヵ所のうち3ヵ所ゲットで豪華賞品が当たるチャンス！
7ヵ所すべてで当選確率が 2 倍のWチャンス！ ！

■実施場所（スタンプラリーポイント）

- ●≪蒜山･奥大山エリア≫　道の駅 風の家、休暇村 大山鏡ヶ成(公共の宿)
- ●≪伯耆･南部エリア≫　桝水フィールドステーション 天空リフト
- ●≪大山･琴浦エリア≫　大山町観光案内所(大山情報館内)
- ●≪米子･日吉津エリア≫　お菓子の壽城
- ●≪境港･美保関エリア≫　水木しげる記念館、美保関灯台

以上の計 7 箇所にスタンプラリー用 QR コードを置いて実施しました。

■実施期間

- ●≪夏≫ 7 月 18 日(土)～9 月 27 日(日)
- ●≪秋≫ 10 月 20 日(火)～11 月 23 日(月)

■告知ツール

告知の方法として、下記内容のチラシを印刷して配布したほか、大山王国ホームページ上に告知ページを掲載して、バナー広告、大山王国メルマガ、大山王国メーリングリストなどによって告知しました。

○告知用 A4 チラシ（２万部発行）

○告知用ホームページ

○ケータイスタンプラリー用 QR コードを表示したプレート

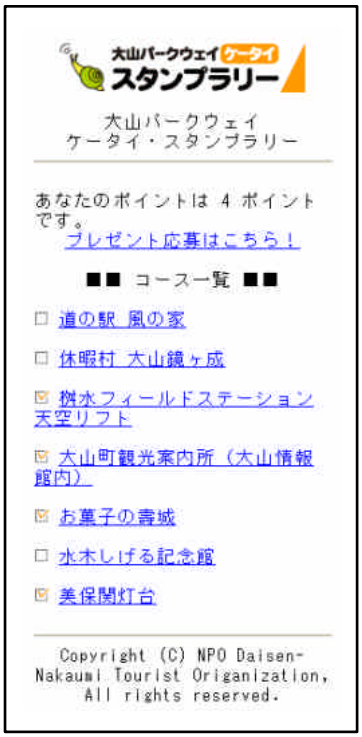
・このプレートを当エリア内の計 7 箇所へ設置しました。
・表示された QR コードをケータイで読み込むことによって、ポイントが加算されます。
・ポイント点数が一定以上蓄積されると、プレゼント応募できます。
・全ポイントを回ると、プレゼントの当選確率が 2 倍になります。

大山フィールドステーション正面玄関

この QR コードが、スタンプの代わりとなり、ポイントされます。

○ケータイスタンプラリー実施画面（ケータイ Web 画面）

次は何処へ行けば良いのかを案内し、施設写真、施設詳細、カーナビ用マップコード、地図などで案内しました。また、次のプレゼントまでのポイント数を表示して促しました。

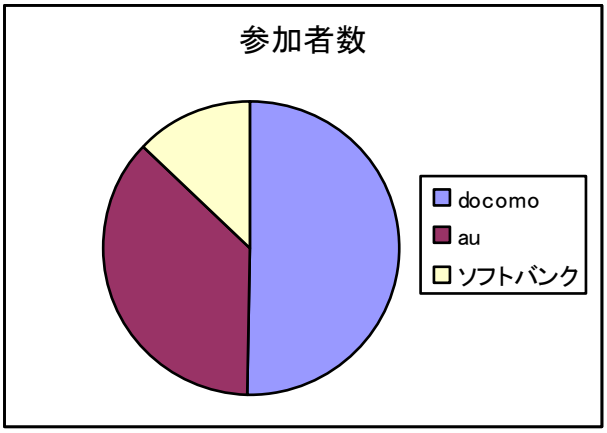


○ケータイスタンプラリー参加者数、参加者アンケート調査結果

夏、秋の参加者数

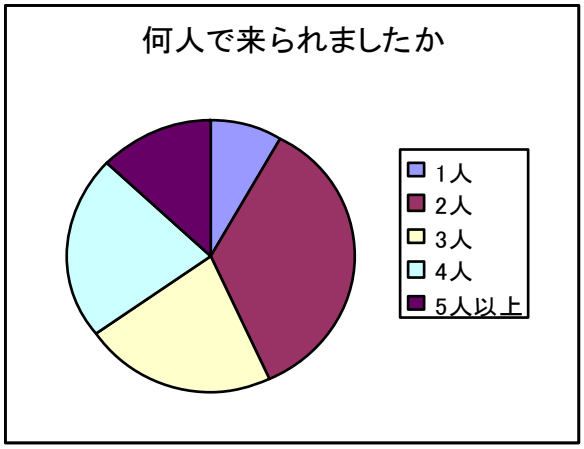
携帯事業者名	参加者数
docomo	126
au	92
ソフトバンク	33
総計	251

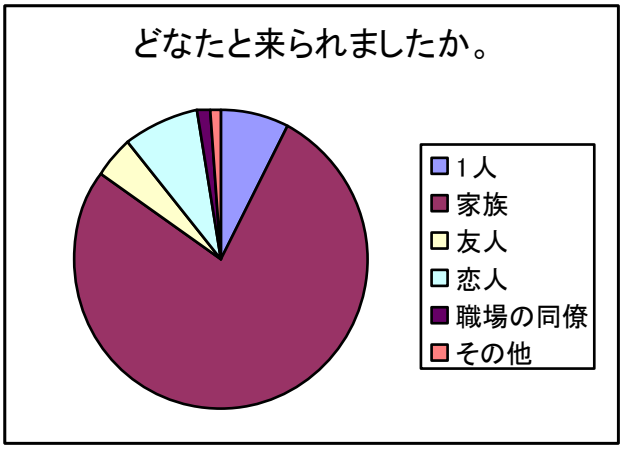
※総参加者数数は３１０グループ。
（アンケート回答はそのうち２５１）



参加者アンケート

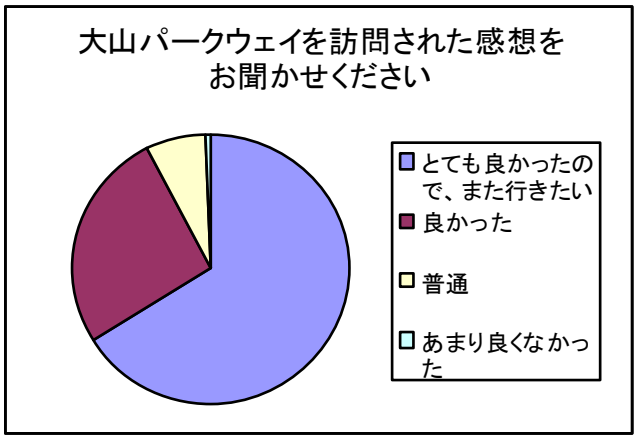
	どなたと来られましたか。							
2何人で来られましたか		1人	家族	友人	恋人	職場の同僚	その他	総計	総参加者数
	1人	19						20	19
	2人		63	4	21		1	89	178
	3人		49	3		1	1	54	162
	4人		54	2				56	224
	5人以上		27	2		2	1	32	160
	総計	19	194	11	21	3	3	251	743

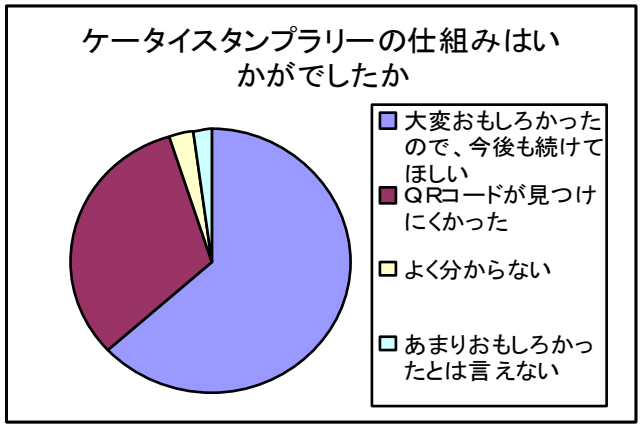




ケータイスタンプラリーの仕組みはいかがでしたか	大山パークウェイを訪問された感想をお聞かせください					
		とても良かったので、また行きたい	良かった	普通	あまり良くなかった	総計
	大変おもしろかったので、今後も続けてほしい	68	21	3	1	93
	あまりおもしろかったとは言えない		2	1		3
	よく分からない	1	2	1		4
	QRコードが見つけにくかった	28	14	5		47
	総計	97	39	10	1	147

※感想についてのアンケート回答は１４７件。





当地への来訪者の傾向としては、家族などと複数人数での来訪者が多く、大山パークウェイを訪れられた感想は概ね良好であった。（とても良い・良いで 90%以上）

ケータイスタンプラリーの仕組みについても 6 割以上が「大変おもしろかった」と応えており概ね良好であったが、その反面「QR コードが見つけにくい」という意見も多かった。

＜ケータイスタンプラリー評価＞

ＱＲコードスタンプラリー参加者数は１０００人を目標にしていたが３１０グループ（７４３人）ということで、目標に達しなかった。ケータイによるスタンプラリーは新しい取り組みで、浸透には時間かかかる。しかし、参加者の６３％に大変面白いと評価いただいた。

（なお、アンケート基本回答は２５１件、感想までいただいた方は１４７件でした。）

このケータイスタンプラリーをＰＲした、大山パークウェイホームページ（昨年開設）は７月１日～１１月３０日の４ヶ月間でアクセス件数２０１７３、ページビュー４２５０２。多くの方に、この内容をＰＲすることができた。

１－３）　大山パークウェイ協議会・全体フォーラムの開催

大山パークウェイの取り組みの浸透に向け、大山パークウェイエリアの新イベント「第１回SEA　TO　SUMITT（９月１９，２０日）」の開会セレモニーの中で、「大山パークウェイ/環境フォーラム」を実施。
皆生温泉・海浜公園ドームを会場に、ナチュラリスト・C．W．ニコル氏、平井鳥取県知事、内田正洋氏（海洋緑化協会キャプテン）、そして辰野　勇（モンベルグループ代表）４名による講演会とパネルディスカッション。森の大切さ、大山エリアの景観、環境保全をテーマに、大山パークウェイの取り組みについても紹介をいただく。
このフォーラムには「SEA　TO　SUMITT」選手（１０５チーム２５０人）に加え、関心のある一般市民も参加し、全体では約４００名が参加した。

1－4） その他、新聞等で独自にPR活動

※毎日新聞　大山“彩”発見の記事で、繰り返し大山パークウェイも紹介。

毎日新聞　2009年（平成21年）9月17日（木）　鳥取　22

大山"彩"発見

石村流 楽しい道五選

大山パークウェイという取り組みを昨年から始めていますが、あらためて"道"について考える機会にもなりました。大山山麓には、気持ちいい快適な道がいくつもあります。景観、雰囲気、走りやすさ等、快適さを構成する要素がありますが、それを兼ね備えた道のドライブはもちろん、バイクや自転車でのツーリングも実に楽しいものです。クルマが少ないところは歩いても楽しい。"そんな道を"大山の楽しい道五選"ということで、独自に選んでみました。

①大山観光道路……これは米子から大山寺へのメーンのルートで、大山パークウェイの中心でもあります。中でも旧料金所から大山寺博労座にかけては、今年度の道路緑化保全協会の「菊池道路環境賞」を受賞。大山を仰ぐ景観、並木松など景観評価され、まさに全国を代表する"美しい道"。

②大山環状道路……これも大山パークウェイの主要道。桝水高原から鍵掛峠を経て奥大山スキー場までの別名「ブナの森ドライブ」とも。中でも二の沢から三の沢のブナの原生の森を抜ける道は圧巻。両側広がる樹林帯には心奪われる美しさがあります。鍵掛峠から仰ぐ大山南壁は西日本を代表する絶景ポイントで、紅葉シーズンは渋滞になるほど。

③蒜山大山スカイライン……蒜山と鏡ケ成を結ぶ尾根筋ルート。中でも県境付近の鬼女台展望台付近は息をのむほどの大パノラマが楽しめます。

④天空の道（鏡ケ成～関金）……東大山につながる尾根筋を走る絶景ルート。まるで大山秘境を走っているようなそんな雰囲気も。なお、天空の道は個人的な愛称です。

そして、最後の一押しルートは⑤山と海と空の道（大山北麓・香取～名和）……このタイトルも個人的な愛称ですが、まさにこのタイトルがふさわしい。このエリアは北麓の手付かずの自然と、広大な草原、芝畑、美しい農村風景の残る貴重な場所で、いわゆる観光化されていないエリア。そんな空間を一直線に日本海に向かって進むダイビングルートは実に開放感にあふれています。楽しい道とはまさにこんな道。

この道はクルマも少ないのでダウンヒルサイクリングにはもってこい。そこで、大山王国ではこの道を楽しむ企画をしました。今回はトライアルですが、評価をいただければ、継続的に実施をしたいと考えています。

タイトルは「自転車散歩・絶景ダウンヒルサイクリング"ブナの森から紺碧の海へ"」。10月17日に開催。内容は、海抜850㍍から0㍍へ。絶景の中を自転車散歩で約20㌔をゆっくり下る。コースは大山スキー場～香取高原～神田～木料海岸～御来屋。参加料は2000円（自転車レンタル代込み）。募集は8人。申し込み先は大山王国（0859・68・3091）へ。気になる方は、是非！

（「大山王国」理事長・石村隆男）

大山北麓から名和へ抜ける「山と海と空の道」

大山パークウェイの中心「大山観光道路」

毎日新聞　2009年（平成21年）10月29日（木）　鳥取　22

大山"彩"発見

錦繍がもたらす宇宙的恵み

大山の紅葉がクライマックスを迎えました。今年は気象条件が良かったのか、かなりいい色合いになりました。特に夏後半から秋にかけて天候が安定したこと、秋の適度な寒暖の差が"彩り"を上手に熟成させたことがその理由でしょうか。

大山の紅葉は、その見事な色合いから「錦繍」とも表現されます。森の中では、赤や黄色に色づいたブナやカエデ、ミズナラなどが目にも鮮やかな彩りとなっています。それぞれでも見事ですが、森を離れて遠望してみると、これらの色が交じりあい、「錦色」に昇華したように見えてきます。これが「錦繍」。これ最も体感できる場所が大山パークウェイの景観スポット・鍵掛峠。西日本を代表する紅葉スポットとして知られています。

さて、この錦繍大山の中心的な存在は、実は「ブナ」。紅葉を楽しましてくれるだけでなく、大変な恵みをもたらしてくれています。ブナの森の恵みは沢山ありすぎて、すべてを紹介できませんが、ポイントを3点ピックアップしてみました。

■ブナの森は酸素製造工場

ブナは直径40㌢の木で約10万枚、60㌢の木で約36万枚の葉を付けるとされています。この一枚一枚が大気中の二酸化炭素を吸収し、自分に必要な栄養と動物たちに与える栄養をつくり、新鮮な酸素を作り出しています。人間が1人呼吸するだけで、15～20本の木の出す酸素が必要とされ、さらに、日本の場合、その文明を1人の人間が満喫するためには300本近くの木からでる酸素が必要といわれています。ちなみに米国は500本とも。

■ブナの森は自然の巨大ダム

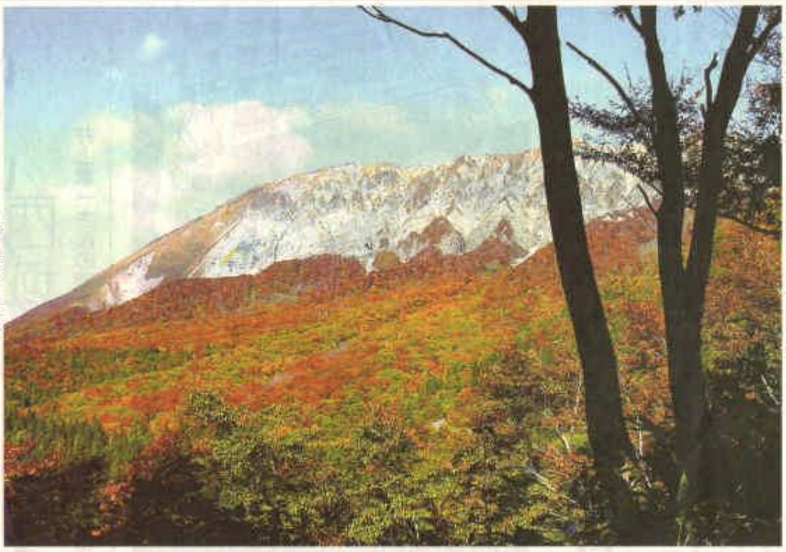
ブナの多量な落ち葉がダムを作ります。1㌶当たり年1・3～9㌧くらいの葉を落としますが、これが地表にたまり、厚いスポンジ状の腐葉土の層を作ります。このスポンジ状の層が、保水能力を高め、雨水をため込みます。そして、この水が徐々に地中にしみ込んで、何年間も地下水としてためられていきます。これが、ブナの森は人工のダムよりも何倍もの水をため込む自然のダムと呼ばれるゆえん。そして、この自然のダムは、川の安定した流れを保証しています。もし、この腐葉土の層がなくなったら、雨水は地表を走るように流れ洪水を引き起こしてしまいます。

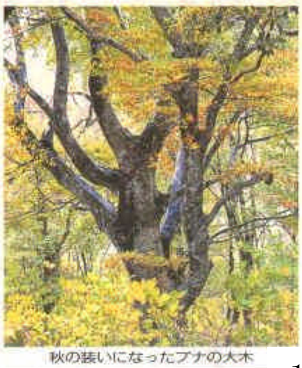
■ブナの森は宇宙的浄水場

気の遠くなるような長い年月（8000年とも言われる）をかけて蓄積された腐葉土がおいしい水、さらには豊饒の大地、豊穣の海を作りだす水を作ります。この腐葉土には無数の小動物、菌類が生きていますが（森の中では、靴の下に2000もの生き物がいることが分かっています）、この生き物たちが共生する小宇宙のフィルターで水が磨かれていきます。まさに人知を超えた宇宙的浄水場。

大山の錦繍がもたらす恵みが少し分かるだけでも宇宙が広がったような気がしてきます。

（大山王国理事長・石村隆男）


紅葉に染まった鍵掛峠


秋の装いになったブナの大木

２－２旅行商品の造成と受け入れ体制の整備

２－１）　滞在型･体験型新旅行商品の開発とプロモーション

大山パークウェイエリアの魅力を充実するため、新たな滞在型・体験型の新旅行商品の開発に取組んだ。現地調査、試行繰り返した結果、大山の不思議・パワースポットをテーマに構成した「大山スピリチュアルウオーク」、パークウェイのキーワード“ブナの森から紺碧の海へ”をプログラム化した「大山絶景ダウンヒルサイクリング」を開発し、モニターツアーをそれぞれ2回実施（10月17日と18日の午前午後）参加者総数60名。次年度は具体的な商品化決まる。

＜大山スピリチュアルウオーク＞　企画概要

大山王国スピリチュアルウオーク　モニターツアー

・10月18日（日曜日）　午後1時30分～午後4時30分

・集合場所　　大山参道ギャラリー前

・内容（ストーリー）：　大山は中国地方の最高峰でもあり、太古の昔より神聖な山、神の山として崇められていました。数千年の歴史の中で培われてきた神聖なものが、大山には点在しています。そのいくつかのポイントをガイドとともに歩きます。神秘性、不思議なパワーをしっかり感じ取ってください。まさに“センス　オブ　ワンダー”体感のドラマチックウオークです。大神山神社まで上がりますので、山歩きができる靴で参加ください。

※雨天でも実施します。（雨天寺は森がさらにいい雰囲気に）

※約3キロのコース　標高差約150ｍ　※ガイドは大山王国　石村が担当。

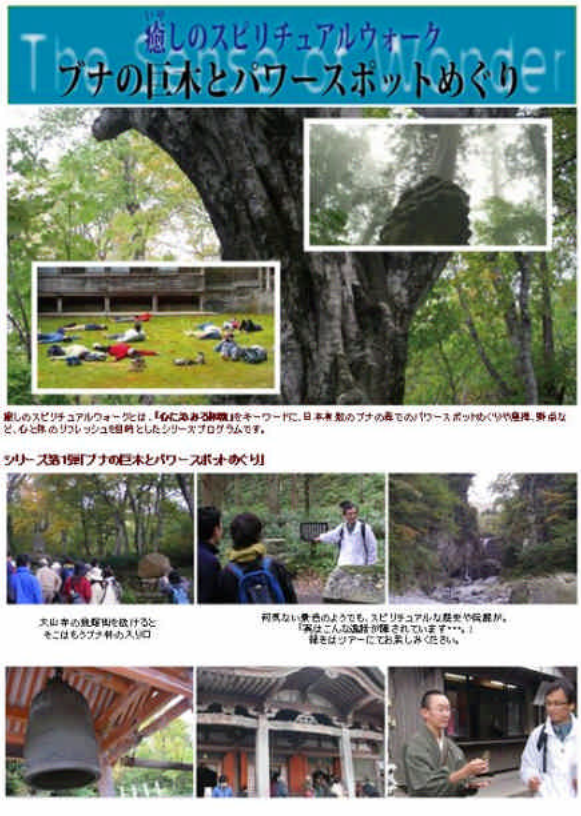
・参加料　　1000円　　・募集定員　　15名

・申し込み先　大山王国　電話 0859-68-3091　受付時間10時～17時（平日のみ対応）

●コースのポイント　　※10,11,12は順番変更の場合もあり

大山参道ギャラリー集合・出発	大山参道を登っていきます
１、大山寺横から森の中へ	ブナの森のパワー
２、金門下（南光河原）	大岩のパワー
３、大山寺	宝牛
４、大神山参道	力石パワー
５、金門上（賽の河原）	大山北壁三途の川／地蔵パワー
６、大神山神社参道	大神山神社御神水
７、逆さ門	国の重要文化財　苔むした逆さ門の秘密
８、狛犬と階段と階段下から望む本殿	狛犬の睨み　迫力の本殿のパワー
９、大神山神社奥宮	国の重要文化財　大山の中心・胎内の中のような
１０、幣殿参上	幣殿で大神山神社にまつわる説明拝聴 奉納音楽の清聴
１１、境内の苔	裸足で苔の柔らかな感触を味わう
１２、境内上部にある巨大杉と巨大ブナ	もののけの森　巨樹パワー
１３、下山神社	国の重要文化財　白きつねの棲家
１４、スキー場方面への道	不気味なキノコノキ
１５、ブナと熊笹の森	鬱蒼とした宝珠の森
１６、宝珠山中の原　芝の草原	下界の風景が突然と出現
１７、※状況に応じて　　豪円山のろし台	北壁、宝珠絶景（時間があり、天候がいい場合のみ）
大山参道ギャラリー解散	

上記は午後の設定ですが、午前中にも関係者によるモニターツアーを実施。
合計で36名の参加をいただき、評価をいただく。好評な内容だったこともあり、2010年4月以降、具体的な商品化が決まり、以下の内容で募集が始まることに。　※主体: 森の国（大山フィールドアスレチック）



大山王国ダウンヒルサイクリング

大山王国自転車散歩

絶景ダウンヒルサイクリング“ブナの森から紺碧の海へ”　モニターツアー

・**１０月１７日**（土曜日）　①午前９時３０分～１２時　②１３時３０分～１６時

・集合場所　　大山スキー場　中の原スキーセンター前

・内容（ストーリー）：　大山北麓は手付かずの自然と、広大な草原、懐かしい農村風景の残る貴重な場所。このいわゆる観光化されていないエリアを寄り道しながら体感、満喫するスペシャルなダウンヒルサイクリング。ほぼ下りの道ですので、特別な体力は不要ですが、自転車に乗れることが条件。

自転車散歩（ポタリング）ですので、ゆっくり自然を体感しながら下っていきます。

コースは大山スキー場、香取高原、懐かしい分校跡、神田（かんだ）絶景エリア、名和神社、御来屋（みくりや）港。帰りはマイクロバスで集合場所までお連れします。　※雨天中止

※海抜８５０mから海抜０mへ自然と絶景の中をポタリング　約２０キロ　２時間コース

・参加料　　２０００円　　（自転車持込の方は１０００円）

※参加料には自転車レンタル費用含む（ＭＴＢまたはクロスバイク用意）

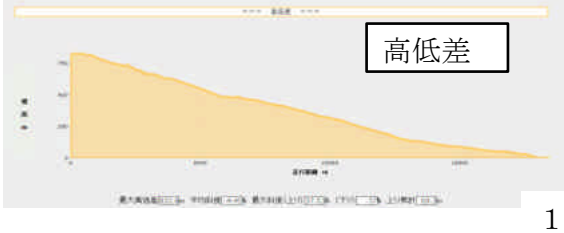
･募集定員　　８名（各回とも）

・申し込み先　大山王国　電話 0859-68-3091　　受付時間１０時～１７時（平日のみ対応）

●コースのポイント

1、大山中の原スキー場	集合場所: 広大なスキー場風景
2、山国際スキー場草原	曲がりくねった道
3、川床	阿弥陀川の渓流とブナ林（ちょっと森の中を散策）
4、香取村ミルクプラント	飲むヨーグルトが人気
5、香取村(高原)	日本一美しい村　香取の牧草地
6、旧大山小学校香取分校	さだまさしさんの歌「吾亦紅」のモチーフになった小さな分校　木造校舎
7、神田地区	青い日本海と大山北壁の大パノラマが楽しめる絶景エリア
8、芝畑の囲まれた道	コース沿いには広大な芝生生産畑が点在
9、名和神社	後醍醐天皇を支えた名和長年公ゆかりの歴史のある神社　参詣
10、御来屋の街並み	海辺の宿場町　懐かしい雰囲気の街並みが続く
11、御来屋漁港	ゴール地点　後醍醐天皇の御腰掛の岩も　魚の直売センターあり　海抜0m

コース略図



前項のモニターツアーは午前、午後実施し、合計で24名の参加をいただき、評価をいただく。
スピリチュアルウオーク同様、具体的な商品化が決まり、以下の内容で募集が始まることに。
※主体：森の国（大山フィールドアスレチック）

標高約850mの大山スキー場から、同300mの森の国まで（Aコース）、または同0mの海まで（Bコース）、交通量のほとんどない絶景のワインディングロードや田舎道をゆったりと下るサイクリングツアーです。

時には自転車を置いて、沿道の牧場見学やブナの森での体験など、ガイドツアーならではのお楽しみが！

まずは森の国から
スキー場まで移動し、
コースのブリーフィング

スタート直後には、360°視界
が開ける絶景ポイントにご案内

参加者の皆さん、
カメラをお忘れないように！

「ヒャッホ～ゥ！」
ダウンヒルならではの
爽快感

まるで森のトンネルを
ぬけているよう。

振り返ると
スタート地点が
もうあんな遠くに。

途中、源流を訪ねたり、
ちょっとしたハイキングも。

森や源流の中は
マイナスイオンがたっぷり

沿道にはミルク工場も。
名物の「飲むヨーグルト」は
ぜひ飲んでおきたいところ。

青空、雲、ススキ野原などの風
景が風とともに次々と後ろ

弧を描く美しい海岸線が
みえてきます。（B コース）

ゴール。磯の香りがやさしく
包み込んでくれます。

コース & 料金	手軽さを希望する人	ダウンヒル A コース 【所要　2.5ｈ　約１７ｋｍ】	4,０００円
	満喫したい人	ダウンヒル B コース 【所要　3.5ｈ　約２５ｋｍ】	5,０００円

※上記は具体的に商品化された大山ダウンヒルサイクリングの内容　（2010年4月から実施）

■この体験型の商品は、実験的事業としてにJTB中国四国がまとめた山陰文化観光圏の「体験型旅行ガイドブック」（2009年11月発行）の鳥取県版、島根県版で紹介していただく。この費用については観光圏などの費用で賄う。 冊子の完成が、11月で実際の催行にはつながらなかったが、PRという点においては一定の役割を果たした。

＜プロモーション活動＞

大山パークウェイの取り組みは、昨年度作成のリーフレット（マップ付き）と映像DVDをツールに
西日本を中心に各地に出かけてプロモーションを実施。また、大山パークウェイの中心でもある
大山桝水高原で開催の食のイベント「とっとりバーガーフェスタ（大山パークウェイ協議会協力）」
を大山パークウェイトのウリ（材料）と位置づけ、セットでPR活動を行った。

●柄木孝志担当 （有限会社ジャプロ）
> 7/28 大阪：講談社、角川書店
講談社
関西一週間編集部に大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。
担当者が急遽対応不可となったため資料のみを手渡し、簡単に概要説明。イベントそのものは
取り上げられなかったが、今後の情報提供へのネットワーク作りへの手応え。

角川書店
関西ウォーカー編集部に大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。
イベントそのものは取り上げられなかったが、今後の情報提供へのネットワーク作りへの手応え。

> 7/29 大阪：リクルート関西支社
関西じゃらん編集部に大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。
じゃらん11月号の誌面にて秋の大山ととっとりバーガーフェスタのイベント案内が掲載された。

> 8/19 山陽放送
> 10/26 山陽放送
夕方放送の「イブニングDONDON」という情報番組に、大山パークウェイととっとりバーガーフェスタ
をPR。打ち合わせの後、10月26日の生番組に出演。秋の大山観光の特集として紅葉の大山パーク
ウェイを紹介し、とっとりバーガーフェスタの案内も実施。

> 8/20 岡山放送
毎週土曜日放送のニョッキンセブンという情報番組に、大山パークウェイととっとりバーガーフェスタ
をPR。残念ながら紹介には（地元エリアが基本ということで）至らなかったものの、今後の情報提供
へのネットワーク作りへの手応えはあった。

> 8/24 FM倉敷、じゃけん編集部
FM倉敷放送局に、大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。
11月の番組で数回、大山パークウェイととっとりバーガーフェスタを取り上げてもらうことができた。
FMくらしきには“なるほど ザ 大山王国”というコーナーが月一回月初金曜日18時15分から
15分間あります。ここでは夏から秋にかけて繰り返し（7-11月5回）大山パークウェイを紹介。
（電話出演で地元からライブ感のあるレポートを届ける）

岡山エリアの情報誌「じゃけん」へ、大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。11月号の誌面にて、大山パークウェイ、とっとりバーガーフェスタを半ページ分取り上げてもらうことができた。

＞ 8/25　周地社、広島ホームテレビ

山陰・山陽エリアのイベント情報をweb発信し、また旅行雑誌の編集なども手がける「周地社」に大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。

webにてイベントを掲載してもらうと同時に、2010年4月発売予定の「るるぶ鳥取・大山・境港版」ではパークウェイ沿いの風景、食などを紹介してもらうことが決定した。

（るるぶ誌面）

＞9/7　リクルート中国支社、じゃらん編集部
リクルート中国支社「じゃらん中四国版　編集部」に大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。
誌面にて2Pにわたり紹介してもらうと同時に、とっとりバーガーの特集記事を掲載。
2010年4月号にて再び2Pにわたりご当地バーガーの特集記事を掲載してもらった。

＞9/25　鳥取県関西本部
関西圏へのアプローチのため官民の連携によるPRを打診。
大山パークウェイ、とっとりバーガーフェスタの内容を説明した。

＞9/26　毎日放送、スポーツ報知他
毎日放送「ちちんぷいぷい」という情報番組に大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。
残念ながら紹介には至らなかったが、今後の情報提供へのネットワーク作りへの手応えはあった。

スポーツ報知に以前からお問い合わせいただいたことのご挨拶もかね大山パークウェイととっとりバーガーフェスタをPR。11月の紙面で大山パークウェイを含めた秋の大山観光特集を掲載してもらう。

●幸形ノブユキ、森下直子担当（有限会社ジャプロ）
＞2/2　東京都：鳥取県東京本部
東京本部の白石副本部長、牧プロモーターほか3名の観光・物産担当者に大山パークウェイの取り組みについてPR。首都圏における展開について、打ち合わせ。（ガイド冊子「大山パークウェイ滞在計画」の有効活用、メディアへの配布、PRについて）　大変な関心を持っていただき、来年度に向け首都圏での営業ツールとしていただけることになった。
※ガイド冊子・滞在計画の校正段階のものを持参。

2/3　東京都：JTBF・財団法人日本交通公社
観光分野で、調査、企画、プロモーションなどを展開する財団法人日本交通公社の梅川調査部長ほか2名にプロモーションモーション担当者に、大山パークウェイのPRおよび、首都圏におけるプロモーションについて協議を行う。また、JTBの商品開発部門等への紹介をいただくことを依頼する。

２－２）モデルツアーの実証実験（モニター調査の実施）

大山パークウェイを巡るモデルコースを設定し、米子市観光協会などが企画･運営の「湯～らんバス」で実験的に運行していただく。この湯～らんバスは、米子空港の利用促進、やJR利用の促進などいわゆる2次交通をプログラムして、ツアーで販売することを目的に企画されたもので、この商品は首都圏の全日空系の旅行会社などを中心にパンフレット/チラシ、関係機関のホームページでPRが実施されました。

実施期間：　9月19日～12月13日で（57回実施）。
参加者：全体で288人（パークウェイ号124人）

●湯～らんバス実績表

エージェント	9 月		10 月		11 月		12 月		合計
	だんだん号	パークウェイ号	だんだん号	パークウェイ号	だんだん号	パークウェイ号	だんだん号	パークウェイ号	
JTB	0	0	9	4	10	7	0	0	30
日旅	0	0	0	0	8	0	0	1	9
ANAスカホ	0	0	2	2	7	7	2	2	22
ビッグホリデー	4	4	2	2	4	4	3	3	26
旅行計画	3	3	16	16	28	31	14	11	122
直扱(日ノ丸)	9	1	17	5	26	21	0	0	79
小 計	16	8	46	29	83	70	19	17	288
合 計		24		75		153		36	288

だんだん号	パークウェイ号
164	124

●湯～らんバスアンケート集計　（※アンケート回収125件）

奇数日(だんだん号)/偶数日(パークウェイ号)

■ どちらから？

北海道…11／**青森県**…4／**山形県**…1　16件
東京都…32／**神奈川県**…17／**千葉県**…22／**埼玉県**…7／**群馬県**…2／**茨城県**…1　81件
静岡県…2／**愛知県**…5　7件
兵庫県…9／**京都府**…2／**和歌山県**…2　13件
鳥取県…4／**島根県**…3　7件
長崎県…1

合計125件

■ 年齢

10代…2／**20代**…12／**30代**…9／**40代**…11／**50代**…36／**60代**…36／
70代以上…17**不明**…2

■性別

男性…28　／**女性**…97

■ 乗車日

9月(シルバーウィークのみ10組)／**10月**(平日…6組／土日…6組／3連休を含む1週間で20組)
11月(平日…46組／土日…8組／祝日、3連休…19組)／**12月**(平日…5組／土日…5組)

当地までの交通手段

航空機 89		ＪＲ 24		高速バス 8		マイカー 6	
だん	50	だん	19	だん	7	だん	1
パーク	29	パーク	5	パーク	1	パーク	5
両	10	両		両		両	

複数回答あり

■ 何人で参加？

1人…11／**2人**…82／**3人**…23／**4人**…3／**7名以上**…6

■ 当地来訪は何回目？

初めて…89（**航空機利用**…64／**JR**…18／**高速バス**…7）
2回目…24／**3～5回目**…7／**6回目以上**…1／**地元**…4

■ お気に入りのスポットは？

だ ん だ ん 号＝足立美術館…54／出雲大社…41／松江（松江城）…23／堀川遊覧…12
その他（島根ワイナリー・出雲博物館・小泉八雲記念館）

パークウェイ号＝大山（大山寺、紅葉も含む）…35／水木しげるロード…13／美保神社…11
その他（鍵掛峠…4・境港…3・皆生温泉・蒜山・こもれび館からのながめ・ブナ林）
＊ それぞれのコース、すべて良かった…3件

■ コース内容について

大満足…19 **良い**…43
{意見} 空港→松江→出雲大社→足立美術館のコースはどうか？（または、逆のコースでも）
雨で堀川遊覧ができなかった／美保関灯台まで行きたかった／蒜山に不満…3／蒜山・出雲大社が遠い
好天候なら長時間がいい／水木しげるロードの時間が短い／

■ 金額選定について

大満足…36 **良い**…48 **{意見}** 割引などがあり、お得だと思う

★ 意見・メッセージ ★

お礼のメッセージ…21／**また利用したい**…3／**もっと宣伝すれば**…2／**少人数でよかった**…1など

詳細
＊**蒜山について**…時間が余った・足を伸ばすほどもない・休憩が長い
＊**境港・水木しげるロードについて**…時間がもっと欲しかった・水木しげるロード＋水木しげる記念館にして欲しい
＊**少人数での出発に満足**…3
＊**時間について**…足立美術館の時間不足…1／松江城の時間不足…3／出雲大社の時間不足…3

提案=
出雲地方の古代歴史コースに興味がある
1 名参加でバスに参加できるツアーを
パークウェイコースの午後の時間が余る
下車時に丁寧に案内して欲しかった
・ お薦めスポットで話をして欲しかった
・ 美保関灯台まで行って欲しかった
・ スポットでの待ち時間が長い
・ 植田正治写真美術館に行ってみたかった

２－３）受け入れ体制の整備

大山パークウェイエリアの滞在型（体験型）プログラムの対応窓口の設置、ならびに新旅行プログラム・モニターツアー催行についての運営サポート機関として、皆生温泉と大山に窓口を８月～１１月（4ヶ月間）に設置。
皆生温泉地区は大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会に受付窓口を設置。
大山地区は、森の国（大山フィールドアスレチック）にツアーの受け入れ窓口の設置。

＜皆生温泉地区の窓口＞　大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会

米子市皆生温泉
観光センター内デスク設置
電話：0859-35-6785

主に受付、相談窓口として対応いただく。 運営実績は下記の通り。

平成２１年１１月３０日

特定非営利活動法人　大山中海観光推進機構　様

大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会
会長　　柴　野　憲　史

大山パークウェイツアーデスク運営報告

平成21年8月1日付けで受託しました大山パークウェイツアーデスク運営事業について、事業を完了しましたので、次のとおり実績を報告します。

記

1　ツアー取扱件数

大山パークウェイツアー開催実績

コース名		８月		９月		１０月		１１月		合計	
		件数	顧客数	件数	顧客数	件数	顧客数	件数	顧客数	件数	顧客数
大山	ブナの森古道散策　～さくっと～	3	11	1	2	1	3	2	8	7	24
〃	〃　～ぐぐっと～			1	2	3	7			4	9
〃	大山ハーフ登山			2	5					2	5
〃	渓流登り体験	3	9							3	9
〃	大山スピリチュアルウォーク					1	36			1	36
〃	大山ダウンヒルツアー					1	9			1	9
合計		6	20	4	9	6	55	2	8	18	92

2　ツアーサポート
大山ダウンヒルツアー（平成21年10月18日）　２名／１日
大山スピリチュアルウォーク（平成21年10月25日）　３名／１日
別添写真のとおり

3　ツアーに関する問合せ受付
電話　　58件
Ｅメール　21件

上記を含め、パークウェイ協議会がサポートするエコツアー全体では約500人が参加。

＜大山地区の窓口＞　森の国

西伯郡大山町赤松
森の国
電話：0859-53-8036

新旅行プログラムについて調査のサポート、事前の実験催行、開催時には全面的なサポートをいただくとともに、大山地区のモニターツアーの受け付け、問合せ窓口を担当。
（8－11月の4ヶ月間）

8月　協議　2回　　スタッフ延べ4人対応
9月　協議　2回　調査2回　実験催行2回　　スタッフ延べ6人対応
10月　協議　2回　新プログラム　モニター催行　4回　スタッフ延べ9人対応、
（大山ダウンヒルツアー午前午後2回、スピリチュアルウオーク午前午後2回）
11月　協議　3回　来年度の具体的な商品化に向けて　スタッフ延べ6人対応

8月～11月　電話にて問合せに対応、対応件数　約60件。ダウンヒルツアー10 名受付。

調査

実験催行

２－３　案内標識等の整備

３－１）　観光スポットにQRコードの案内シールなど設置

各観光スポットの基本情報を提供すること、事中の情報を提供することを目的に、大山パークウェイの各観光（案内）スポットに統一のQRコード入りの案内シールを設置（貼付け）
観光スポット、観光施設、大型観光マップなど併せて160箇所に貼付け。
（例）

道の駅「大山恵みの里」の大型観光マップに貼り付け

右下に添付のQRコード案内シール

ケータイサイトのポータルサイト「山陰　ケータイ旅の案内所」に誘導し、各スポットの案内はそのトップ頁から案内するとした。今回の取り組みでは次のパークウェイのビューポイントを紹介した。

■大山パークウェイ・ビューポイント一覧

大山パークウェイのビューポイントを蒜山から美保関の順に紹介します。
各ページには、写真、コメント、マップコードがあります。

■蒜山ジャージーランド・放牧場（蒜山）
■蒜山・白樺の丘（蒜山）
■蒜山大山スカイライン（蒜山）
■鬼女台（きめんだい）（蒜山）
■大山・鏡ケ成（かがみがなる）（江府）
■御机（みづくえ）（江府）
■木谷沢渓流（江府）
■鍵掛峠（かぎかけとうげ）（江府）
■三の沢（大山）
■桝水（ますみず）高原天空リフト（伯耆）
■大山まきばみるくの里（伯耆）
■植田正治写真美術館（伯耆）
■とっとり花回廊・花の丘（伯耆）
■大山寺・モンベル前（大山）
■大神山（おおがみやま）神社（大山）
■豪円山（ごうえんざん）のろし場（大山）
■赤松望海展望駐車場（大山）
■本宮（ほんぐう）展望駐車場（米子）
■日野川河口（米子）
■皆生（かいけ）海岸（米子）
■弓ケ浜展望駐車場（米子）
■美保湾展望駐車場（境港）
■夢みなとタワー（境港）
■水木しげるロード（境港）
■美保神社（美保関）
■しおかぜライン（美保関）
■美保関灯台・展望台（美保関）
■美保関灯台（美保関）

３－２）　コースの主要ポイントに野立て看板の設置

大山パークウェイの主要なポイントに、PRを狙い、またコース案内を目的に沿線13ヶ所に設置した。
デザインも工夫をし、観光客の目をひくものとなったが、国立公園の圏域内にも設置ということで、色はアースカラーの茶色を基調としたものとした。

蒜山高原　道の駅
風の家

大山寺　モンベル
クラブ　大山店前

美保関灯台
展望駐車場付

３－３）　まいまいステッカーの大量掲出（道路の標識支柱に）

大山パークウェイ沿線の道路標識支柱にPRを狙い、またコース案内を目的に案内ステッカー（矢印ステッカー含む）を450枚掲出（大サイズ：防水使用の耐久性のあるもの）、また各観光施設の窓口などにPRを兼ねて200枚を掲出（中サイズ：防水使用の耐久性のあるもの）。合計で650枚。
デザインは国立公園の圏域内にも設置ということで、アースカラーの茶色を基調としたものとした。

道路標識支柱張付け用（大サイズ 16cmX16cm）

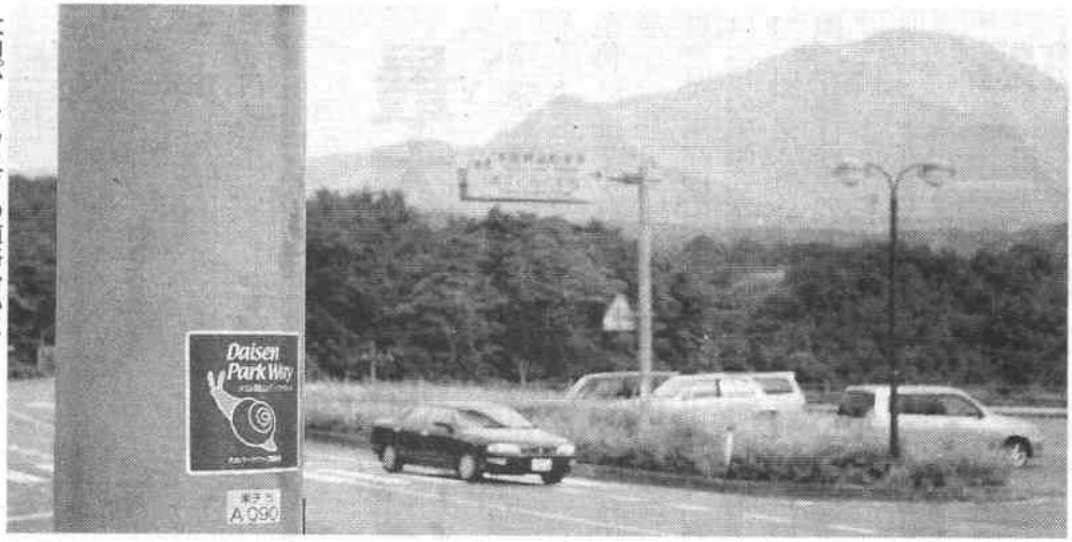
観光施設等張付け用（中サイズ　12cmX12cm）

鳥取県管理の大型道路標識の支柱を中心に、貼り付け。運転手が視認しやすい場所に設置。

貼り付け作業は８月上旬に大山パークウェイ協議会に参加の各市町村担当者に協力いただき、作業実施。

３－４）　県、市町村への標識整備の働きかけ

大山パークウェイの道はほとんどが鳥取県の管理する道路であることから、鳥取県県土整備局に対し、大山パークウェイの標識を設置するよう協議をすすめた結果、来年度の予算で整備することが決まる。大型標識そのものの表示を修正する他、支柱に大きく「大山パークウェイ」の耐久性のあるシールを張付ける、また景観スポットに設置の道路案内看板に「大山パークウェイ」の表示を入れるなど、積極的な取り組みをしていただけることになる。具体的な内容については、来年度早々に協議することとなる。



大山パークウエイの道路沿いにお目見えしたシール＝米子市淀江町本宮

周遊観光をPR

ここは大山パークウエイ

エリア内にシールや看板

岡山県の蒜山と島根県の美保関を結ぶ道路に「大山パークウエイ」の愛称をつけて周遊観光の促進を図る「大山パークウエイ構想」で、ドライバーに該当の道路であることを知らせるシールと看板がコース沿いや観光施設などにお目見えした。

同構想は、国立公園・大山にある旧大山環状道路や美保湾沿いの国道431号など景観が良い全長約80キロの道路をドライブに利用してもらい、地元やその周辺の観光促進につなげるのが狙い。昨年9月に地元自治体や観光関係団体などが協議会を立ち上げ、取り組んでいる。

これまで、地図での紹介やプロモーションビデオの制作などPRを続けてきたが、実際の道路に大山パークウエイの表示はなかった。

シールは16センチ四方。周囲の風景に配慮して茶色の下地に白色で大山パークウエイの文字とマスコットキャラクターのカタツムリの図柄を表示。道路沿いにある鳥取県管理の案内標識の柱などに計約300枚を張った。一方、看板にはコースの全体図を表示し、コース上の観光施設13カ所に設置した。

PRのためにはこのほかにも、携帯電話を手にコース内に設定された地点を巡ると商品が抽選で当たるスタンプラリーやコース周辺の自然の魅力を体感できる散策とサイクリングも実施する。

来年度以降も同構想の事業は継続される予定で、携わる大山中海観光推進機構の石村隆男理事長は「表示することで、皆さんにより認知してもらえる。スタンプラリーや滞在型ツアーの実施でより盛り上げていきたい」と意気込んでいる。

（日本海新聞　9月25日掲載記事）

３ 事業実施/結果概要 ----------

３－１） 事業の評価

●大山パークウェイの認知を進める。

昨年度から取り組みを進めたところ、多くのメディアに繰り返し取り上げられ、圏域内では知られる取り組みになりましたが、これを一過性のものにならないよう、継続して地域に対して、さらに圏外に対して、積極的なPR活動を実施した。メディアでの露出の目標を２０回以上としていたが、大山パークウェイ本体の取り組みについて、新聞、地域情報誌、地元テレビで紹介されることに加え、大山パークウィ協議会が全面的にサポートするパークウェイ沿線でのイベント（大山ミュージックリゾート、とっとりバーガーフェスタ、美保関小椋佳コンサート等）が大きくPRされ、その全体の露出総数は目標大きく超え（５０回超）、大山パークウェイエリア全体の関心度をかなり高めることになった。

QRコードスタンプラリー参加者数は1000人を目標にしていたが３10グループ（７４３人）ということで、目標に達しなかった。ケータイによるスタンプラリーは新しい取り組みで、浸透には時間かかかる。しかし、参加者の63%に大変面白いと評価いただいた。 今後も、同様の手法でスタンプラリーを継続して取り組む予定。

昨年から開設しているホームページは観光シーズンの7月１日～１１月３０日のアクセス件数２０１７3、ページビュー42502。また、新しい取り組みで、ケータイによる案内サイト（山陰旅のケータイ案内所）を１２月１０日に立ち上げ、日々情報を更新。3月１６日現在（3ヶ月）でアクセス件数、 6,656 件、ページビュー12,464 ページ。新着のイベント情報も掲載したことが好評で、ケータイによる“時中”情報の可能性を確認することができた。今後も継続して取り組む。

大山パークウェイフォーラムを新スポーツイベント「SEA TO SUMITT」のプログラムとしたことで、多くのメディア（新聞、テレビ）、アウトドア情報誌（ビーパル、山渓等）で写真紹介され、全国的な話題にもなった来年度も開催が決定する。

●大山パークウェイエリアの中心地でもある大山周辺の入込客数を増やす。

昨年度は暖冬の影響もあり、冬の大幅な落ち込み（マイナス2割）があったが、これをカバーし年間130万人を確保するとしていたが、統計は来年度10月にでるということもあり、秋の入込を指標にした。大山が賑わう秋の紅葉まつり期間中（10/20-11/5）の入込客数(概数)は前年度比で６０００人減の１１８６００人となった。これは最も来訪の多い11月2、3日が雪のため、道路も閉鎖されたことによるが、その前後は例年以上の入込に。特に、１１月７、８日に大山桝水高原で開催したとっとりバーガーフェスタ（大山パークウェイ協議会サポート）には、初めての企画ながら「2万人」が訪れた。道路では大渋滞発生することに。これを加えると、紅葉シーズン全体では前年度を上回ることとなった。

また、大山パークウェイの主要観光施設みるくの里、県立フラワーパーク・とっとり花回廊ではこ

の不況にもかかわらず客数は6～7%増で推移。なかでもとっとり花回廊は5年ぶりに入園者が40万人を超えることになった。

新体験型旅行商品の企画については秋にモニター実施したため、レギュラー実施にまで至らなかった。モニター参加者（約60名）の反応が大変よく、来年度には本格実施が決まる。

また、大山パークウェイ協議会がサポートするエコツーリズム協議会実施のエコツアーには約500人が参加。パークウェイモデルツアー（湯～らんバス）には１２４人（だんだんコースも合わせた全体では２８８人）が参加した。参加者のアンケートでは概ね好評であり、積極的なPRの必要性を感じるものとなった。

●大山パークウェイのコース案内を充実しコースを走る観光客を増やす。

昨年度からマップの配布、広報によりコースの認知が進むが、さらにコース、景観スポットでの案内表示をきちんと行い、観光客数を増やすことを目標にし、景観スポットでのQRコード案内利用者の目標を 3000 人以上とした。

大山パークウェイ沿線の道路標識支柱にパークウェイ案内ステッカーを約３００枚の掲出し、各観光施設に 200 枚掲出、さらに沿線に13ヶ所に野立て看板の設置をしたが、統一感のある、打ち出しができ、さらなる認知が進む。正確な数字はありませんが、ドライブ客の増加を感じるものとなった。

各観光スポットにQRコード案内シール（旅のケータイ案内所）を設置したほか、情報誌「SEE」など情報誌でQRコードの掲載PRを行ったところ、観光のオフシーズンにもかかわらず、開設3ヶ月で6000件超のアクセスとなった。観光シーズンが始まる4月以降はアクセス件数が急カーブで伸びることが予測される。

大山パークウェイの標識整備について、鳥取県が予算化。来年度、鳥取県として整備することになったが、これを引き金に、県として「大山パークウェイ」の取り組みを観光活性化の柱のひとつとして、支援していく体制が整うことになった。

また、大山パークウェイ協議会に参加の各市町村も観光活性化の柱として、積極的な支援、協力体制を進めていくことになり、この事業は続くことになった。

●その他の成果

・大山パークウェイの取り組みを通し、県、各市町村、民間機関の動きが活発化し、様々な新しい企画が立ち上がった。また一連の取組みは、地域の方々に評価いただき、地域のニュース関心度アンケートでは8割を超える市民が関心を寄せている結果も示された。

・大山パークウェイのホームページ継続運用で、開設以来14ヶ月で5万人アクセス、11万ページビューで、多くの方に関心を寄せていただく。今後は大山王国のホームページと一体的に情報発信を行うことで、アクセスは増加していくことが予測される。

・大山パークウェイエリアをフィールドに「第1回SEA　TO　SUMITT」を9月19，20日に開催。全国と韓国から105チーム250人が参加。多くのメディアで全国に向けて紹介され、話題になった。来年度も9月4，5日の開催決まる。大山パークウェイの全体フォーラムをこれにあわせて実施。大山パークウェイのいいイメージがアピールできることになった。

・大山パークウェイのイメージアップを狙い、美保関・美保神社境内で小椋佳コンサート（10月3，4日実施）2日間で1700人来場。また 「大山ミュージックリゾート　in　花回廊」野外コンサート（10月10日）では3500人来場。ここでも大山パークウェイの取り組みということでPRできた。チラシにパークウェイの取り組みPR。来年度も同様に花回廊、美保神社でコンサートの実施が決まる 。

・日本旅行作家協会会長の兼高かおるさんら会員6名が大山パークウェイを視察（8月9、10日）。評価をいただく。来年度、日本旅行作家協会の総会を今年9月に当地で開催することが決まる。

・県の進める「食のみやこと鳥取」の事業の一環で、パークウェイ事務局のスタッフが中心になり、大山桝水高原を会場に“とっとりバーガーフェスタ”開催（11月7、8日）。想定を大きく超える2万人の集客で、大きな話題になる。来年度はパークウェイ沿線に広げ、エリア全体で取組むことが決まる。また、同様に鳥取県の支援で、大山パークウェイソフトクリームマップの制作（ホームページ用）もあり、「パークウェイ」と「食」のコラボレーションがすすむこととなった。

・JR西日本が4－6月に大山・鬼太郎キャンペーンを大山パークウェイのエリアで実施することが決まる。大山パークウェイで企画したプログラムも大きく紹介していただくこととなる。

とっとりバーガーフェスタ（大山・桝水高原）

兼高かおるさんと旅行作家視察団（花回廊）

３－２）　事業の課題

・21年度事業は、20年度の活動で地域に認知いただいていたこともあり、パークウェイ協議会として、ほぼ想定どおりの活動ができた。目標については、ケータイスタンプラリーの件数、入込数の増加について、目標を下回ったが、他の活動の中でその数字をカバーし、可能性を確認することができ、次につながることとなった。

・21年度はパークウェイ協議会自らでなく、参加する各団体が独自の取り組み（イベントなど）を、大山パークウェイを意識して組み立て、展開いただいたこともあり、地域のなかでその存在を強くアピールできた。パークウェイの活動が今後の当エリア観光活性化の中心軸のひとつとして、きちんと官民で広く認識いただけることとなったが、今後も継続して働きかけをすることが課題。

・大山パークウェイをイメージ付けるエリアガイド冊子「大山パークウェイ滞在計画」は新しく撮りおろした写真を多用し、アピールできるものになった。ただ、ゼロからの制作で想定以上に時間がかかってしまった。今年度は間に合わなかったが、来年度に向けての強力なPRツールができた。
このガイド冊子は大変好評で、増刷すること、さらに英語版の制作などについて課題になった。

・大山パークウェイの魅力を拾い出し、新しいタイプの滞在型・体験型旅行商品ができた。
今年度はモニター実施に終わったが、来年度は運営事業者も決まり、春から具体的に稼動することとなった。継続して稼動できるよう、パークウェイ協議会として積極的なサポートが課題。

・とっとりバーガーフェスタが大評判になったが、あらためて“食”がアピールする材料であることを確認できた。今後はパークウェイならではの“食”の展開をしていく必要がある。

・大山が輝く季節は新緑の４月後半から６月前半。なかでも連休明けの５月中旬は最も新緑が美しい季節。これまで、この時期を売り出す取り組みがなかったので、“大山パークウェイ新緑フェスタ”と銘打ち、PRを展開することを協議に入る。

・紅葉時期は、これまでも多くの観光客が訪れるが、この時期にもあらためて「大山パークウェイ」という言葉を知っていただくためのキャンペーンなどを継続して実施することも課題。

・旅行会社と連携し大山パークウェイをテーマとした体験型の新旅行商品の販売を広く展開していくことも来年度の課題。

・ホームページの継続運用。さらに携帯サイを中心に旬の情報（イベント、トピックス、お得など）をデイリーで発信していく。

・道路標識、統一看板など設置を進めるとともに、旅行情報誌、地図会社、ナビ会社など表示をいただくよう働きかけをする。また、QRコードやマップコードなどを活用し、ストレスの少ないパークウェイドライブができるよう、観光ユビキタス化を進めていく。

・各団体の取り組みも、大山パークウェイを意識して組み立て、展開いただくよう働きかける。またサポートも行う。

●さらに、本格的な事業展開に向けては次の取り組も課題

1.統一の道路標識の設置（国道、県道、市町村道）
2.継続的な大山パークウェイキャンペーンの実施。情報発信の継続。
3.着地型、滞在型、体験型の旅行商品の全国販売展開
4.大山パークウェイコンシェルジェデスク（ビジターセンター）設置
5.ICT技術を駆使したナビシステムなど、観光ユビキタスの推進
6.景観保護活動グループ等のネットワーク化　等
7.日本一の絶景ドライブコースを目指し、道路、展望ポイント等の改良。

おわりに～

大山パークウェイの事業はまったく新しい取り組みとして、昨年度から開始しましたが、地域の中でもきちんと受け入れて頂くことができました。これは、地域が求める“潜在的なニーズ”だったのかもしれません。

この事業では、地域をどうデザインしていくのか、なにをポイントに置くのか、どう連携していくのか等、多くの課題に立ち向かうことができました。また、新たな課題も浮き彫りになってきました。
今後はこの事業で得ることのできた知見を活かし、さらなる元気再生に向かって地域一丸で取組んでいきます。ありがとうございました。

[資料編]

1）　大山パークウェイ協議会規約／協議会会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
2）　※ 別添で、ガイド冊子「大山パークウェイ滞在計画」

大山パークウェイ協議会規約

（名称）

第１条　本会は、大山パークウェイ協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）

第２条　協議会は、「大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト（以下「大山パークウェイプロジェクト」という。）」を推進する活動を行うことを目的とする。

※「大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト」は、大山パークウェイ構想の具体的事業であり、観光地としての相対的な魅力が低下している現状にある大山および周辺地域において、国立公園大山を縦断する道（旧蒜山大山スカイライン、旧大山環状道路、旧大山観光道路、さらには美保湾岸を通るＲ４３１：通称産業道路～美保関）を一本の道としてわかり易くて一瞬でイメージができるタイトル（全体で“大山パークウェイ”部分で“大山蒜山パークウェイ”“美保湾パークウェイ”）をつけ、点である観光スポットを繋いで線にし、そして面的な広がりにまでですることで、圏域の魅力を再構築していくことを狙いとする。

また、観光振興という視点だけでなく、沿線のまちづくりをすすめるコミュニティーと協働で地域が元気になるような“パークシティ”を目指し、地域の元気再生に繋げていくことを目的とするもの。

このプロジェクトは、内閣府の平成20年度「地方の元気再生事業」に採択されている。

（事業）

第３条　協議会は、前条の目的を達成するため、次にかかげる事業を実施する。

⑴ 大山パークウェイ構想の推進

⑵ その他大山パークウェイを活用した観光活性化に必要と認められる事業

２　事業の実施における地域の単位は、「蒜山・奥大山」、「伯耆・南部」、「大山・琴浦」、「米子・日吉津」、「境港・美保関」の５箇所とする。

３　事業の実施に当たっては、まちづくりの視点を取り入れることについて、配慮するものとする。

（組織）

第４条　協議会は、第２条の目的に賛同する官・民の各種団体（以下「会員」という。）をもって組織する。

（役員）

第５条　協議会に次の役員を置く。

会長　　１名

副会長　　２名

２　会長及び副会長は、会員の互選とする。

３　役員の任期は、４月１日から翌年３月３１日までの１年間とし、再任を妨げない。

補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、平成２０年度における役員の任期は、平成２０年９月２日から平成２１年３月３１日までとする。

（役員の職務）

第６条　会長は協議会を代表し、会務を総理する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第７条　協議会の会議は、総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

２　会議の議長は、会長があたる。

３　総会は、必要により開催し、次の事項を審議する。

(1) 事業計画の策定及び運営に関すること

(2) 規約の改正に関すること

(3) その他重要と認められる事項

（実行委員会）

第８条　協議会に特に重要な事項の推進を図るため、実行委員会をおくことができる。

２　実行委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（事務局）

第９条　協議会の事務を処理するため、ＮＰＯ法人大山中海観光推進機構に事務局を置く。

２　事務局に事務局長その他の職員を置く。

（その他）

第１０条　この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別にこれを定める。

附　則

この規約は、平成２０年９月２日から施行する。

大山パークウエイ協議会会員

役員名	氏　名	職　　名
会長	河原正彦	鳥取県西部総合事務所長
	大谷　芳徳	鳥取県日野総合事務所長
副会長	野坂　康夫	米子市長
副会長	森田　増範	大山町長
	田中　満雄	琴浦町長
	坂本　昭文	南部町長
	中村　勝治	境港市長
	森安　保	伯耆町長
	石　　操	日吉津村長
	竹内　敏朗	江府町長
	原　　美江	松江市美保関支所長
	杵村　善久	米子市観光協会長
	桝田　知身	境港市観光協会長
	足立　敏雄	大山町観光協会大山観光局会長
	石賀　　久	蒜山観光協会長
	福間　幹郎	松江観光協会美保関支部長
	山本　　豊	美保関地区活性化協議会長
	柴野　憲史	大山・中海・隠岐 エコツーリズム協議会長
事務局長	石村　隆男	NPO法人大山中海観光推進 機構理事長